

愛知県高校生訪問団広東省派遣事業 実施結果報告書



派遣期間：2024年3月22日（金）～3月28日（木）

愛知県政策企画局国際課

目次

全体日程	1
事前説明会及び知事表敬訪問	3
現地での様子	5
「愛知県高校生訪問団広東省派遣事業」参加者アンケート結果	13

全体日程

3/22 (金)	13:00 中部国際空港集合 14:20 中部国際空港発 (NH494) 15:35 成田国際空港着 17:20 成田国際空港発 (NH933) 21:50 広州白雲国際空港着	ホテル
3/23 (土)	09:15 ホテル発 09:25 陳氏書院見学 11:20 中国式点茶体験 14:00 外事弁公室表敬訪問及び歓迎会参加 ホームステイ先へ移動	ホームステイ
3/24 (日)	ホームステイ体験	ホームステイ
3/25 (月)	08:00 広東実験中学高等部訪問 (交流内容) 朝会兼自己紹介 生姜ミルク作り体験 英語 (ライティング) 授業参加 体育授業参加 生徒会やコミック部との交流会 書道・水墨画授業参加 漢服体験 合唱鑑賞	ホテル
3/26 (火)	08:30 仏山市へ移動 09:45 張槎蓮塘村にて獅子舞見学及び体験 10:30 南風古竈見学及び陶磁器作成体験 14:00 深圳市へ移動 15:30 深圳大学見学及び日本人留学生等との交流	ホテル
3/27 (水)	10:00 深圳市改革開放記念館見学 11:20 UBTECH 見学 15:00 広汽豊田汽车有限公司見学	ホテル
3/28 (木)	09:35 広州白雲国際空港発 (NH934) 14:35 成田国際空港着 16:55 成田国際空港発 (NH493) 18:10 中部国際空港着 解散	—

事前説明会及び知事表敬訪問

<事前説明会>

日 時：3月5日（火）午後2時から午後4時30分まで

場 所：愛知県 三の丸庁舎

内 容：自己紹介、渡航概要説明、グループワーク、中国語勉強会



<知事表敬訪問>

日 時：3月5日（火）午後5時から午後5時15分まで

場 所：愛知県公館

内 容：自己紹介・抱負、知事挨拶、記念撮影



現地での様子

1日目 3月22日（金）

＜中部国際空港から広州白雲国際空港へ＞

成田国際空港を経由して広州白雲国際空港へ向かいました。大きなトラブルなく広東省に到着し、順調なスタートを切ることができました。



現地時間 21:50 着。夜遅くの到着でしたが、参加者はさっそく元気に広東省の活気を楽しんでいました。



2日目 3月23日（土）

＜陳氏書院見学＞

時 間：午前9時25分から午前10時50分まで

内 容：広東省の歴史的建造物の見学

陳氏書院は清朝末期に広州 72 県の陳姓の人々が建立した建物です。現在は民芸品の博物館として、地域の人に親しまれています。参加者は書院を飾る彫刻の緻密さに驚嘆の声を上げていました。書院の歴史に加え、修復方法や保存方法について担当者の説明を受けながら、広東省を代表する建築物を見学しました。



美しい装飾に、シャッターを切る手が止まりません！

＜点茶体験＞

時 間：午前 11 時 20 分から午後 0 時 30 分まで
内 容：中国式の点茶体験

黄建紅氏の指導の下、無形文化財に指定されている中国式の点茶を体験しました。参加者は自ら点てた茶を、菓子と共に楽しみました。日本式の点茶（茶道）との違いを体験しました。



黄氏を囲んでの記念撮影

＜外事弁公室表敬訪問及び歓迎会＞

時 間：午後 2 時から午後 4 時まで
対応者：外事弁公室 銭紅潔副主任
内 容：銭副主任始め広東省代表者挨拶、訪問団代表挨拶、
ホストファミリーとの対面式及び交流、記念品授与

広東省外事弁公室の銭副主任を始めとした広東省の方から歓迎の言葉をいただいた後、愛知県の国際課担当課長及び高校生代表が挨拶をしました。挨拶の後、ホストファミリーと対面した参加者は、会場で懇談を楽しんだ後、ホームステイ先に向かいました。



3日目 3月24日（日）

＜ホームステイ体験＞

広東実験中学に通う生徒の家庭に1人ずつ滞在し、ホストファミリーと観光や食事を楽しんだり、図書館で勉強したりしました。



4日目 3月25日（月）

＜広東実験中学高等部訪問＞

時 間：午前8時から午後5時まで

内 容：朝会兼自己紹介、生姜ミルク作り体験、英語（ライティング）授業参加、体育授業参加、生徒会やコミック部との交流会参加、書道・水墨画授業参加、漢服体験、合唱鑑賞

ホストファミリーのもとから広東実験中学の生徒と一緒に登校。文武ともに広東省トップレベルの生徒達と、英語のライティングや体育の授業を受けました。また、広東省の伝統的な飲物である生姜ミルクを作ったり、伝統衣装である漢服を着て礼儀作法を学んだりしました。参加者は同世代の学生と授業を受けたり、交流をしたりする中で、日中の学校の違いを学びました。



素敵な記念品ももらいました！





生姜ミルク作り



全て英語で行われる高度な授業でしたが、県からの参加者も積極的に発言していました。



英語

体育





食堂での昼食会



書道・水墨画



色とりどりの漢服を着て、中国の伝統的な礼儀作法を学びました。



漢服体験



合唱鑑賞



数々の受賞歴がある広東実験中学の合唱団の美しい歌声を鑑賞しました。

5日目 3月26日(火)
＜獅子舞見学及び体験＞

時 間：午前9時45分から午前10時25分まで
内 容：獅子舞の見学及び体験

仏山市の獅子舞は、躍動感あふれるダイナミックな動きが特徴です。中国でも有名な張槎蓮塘村の獅子舞を見学後、獅子頭を触ったり、かぶったりしました。



＜南風古竈見学及び陶磁器作成体験＞

時 間：午前10時30分から正午まで
内 容：登窯の見学、周辺地域見学、陶磁器作成体験

500年以上前から使われている登窯を見学し、周辺の伝統的な街並みが残る地域を散策しました。その後、粘土で獅子頭を製作し、中国の陶磁器生産の中心地である仏山市の特色を学びました。



＜深圳大学訪問＞

時 間：午後 3 時 30 分から午後 7 時まで

内 容：大学担当者挨拶、訪問団代表挨拶、
記念館見学、交流会

日本人留学生や日本に関心のある中国人学生や韓国人学生と共に記念館を見学し、その後、大学内食堂にて夕食を取りながら交流をしました。記念館では、経済特区である深圳市内にある大学としての特色を学びました。学生に人気のミルクティーを飲んだり、中国での学生生活についての話を聞いたり、大学ならではの交流を楽しみました。また、冒頭では愛知県の国際課担当課長と高校生代表が挨拶をしました。



6 日目 3 月 27 日（水）

＜深圳改革開放記念館見学＞

時 間：午前 10 時から午前 11 時まで

内 容：記念館見学

鄧小平政権が改革開放政策を進める中、1979 年に最初の経済特区となったのが深圳市でした。記念館では、経済開放政策前後で人々の生活がどのように変わったか、模型等を用いて説明されており、参加者は案内を受けながら広東省における経済発展の歴史を学びました。

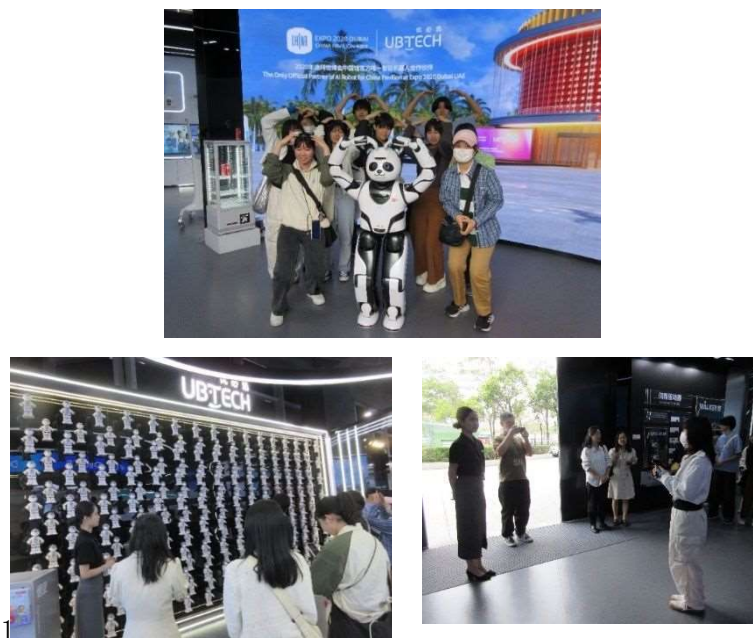


＜優必選科技（UBTECH Robotics）見学＞

時 間：午前 11 時 20 分から正午まで

内 容：UBTECH 製ロボットの見学、
高校生代表挨拶

世界的にも著名な企業である優必選科技の製品を見学しました。太極拳をしたり、歌を歌ったりするロボットの可愛らしさに歓声を上げていました。また、訪問団代表が御礼を述べました。





＜广汽豐田汽車有限公司見学＞

時 間：午後 3 時から午後 4 時 30 分まで

内 容：会社概要の説明聴講、工場見学、
質疑応答、高校生代表挨拶

トヨタ自動車の現地法人を訪問し、中国での同社の活動を見学しました。同社は 5 つの生産ラインを有しており、世界各地にあるトヨタ自動車の工場に比べても規模が大きいのが特徴です。工場を見学後、参加者はグローバル企業で活躍する社員に将来に向けてやるべきことや勉強すべきことを質問し、将来の夢を膨らませていました。また、訪問団代表が御礼を述べました。



7 日目 3 月 28 日（木）

＜広州白雲国際空港から中部国際空港へ＞

往路と同じく、成田国際空港を経由して、皆で無事に帰国しました。



「愛知県高校生訪問団広東省派遣事業」参加者アンケート結果

1. 今回の広東省派遣に参加しようと思った理由（複数選択可）

国際交流に興味があるから	9名
英語力を向上させるため	6名
中国に興味があるから	4名
家族や学校の先生に勧められたから	1名

2. 今回の訪問先の中で印象に残ったところ（3つ選択）

1位	ホームステイ	10名／10名
2位	広東省実験中学	9名／10名
3位	広州市内	4名／10名
4位	深圳市内	3名／10名
5位	広汽豊田汽車有限公司	2名／10名
6位	優必選科技（UBTECH Robotics） 仏山市内	各1名／10名

参加者からの声

< 広州市内 >

- ・点茶体験に憧れていたもので、できて良かった。
- ・日本との茶道の違いが面白かった。

< 深圳市内 >

- ・深圳大学の学生には中国以外の出身の方も多く、たくさんの国について知ることができた。

< 広汽豊田汽車有限公司 >

- ・トヨタの雰囲気を知れて、とても楽しかったです。質問の時間も多く、次に生かせる時間になった。
- ・トヨタの社員の方の向上心や自社愛をととても感じた。

< 仏山市内 >

- ・SNS等でよく見た「獅子舞」を生で見られて、迫力に圧倒された。

3. 今後実施する際に入れると良いと思うプログラム（複数選択可）

1位	ホームステイ	10名／10名
2位	高校生との交流	7名／10名
3位	伝統芸能の鑑賞・体験	6名／10名
4位	博物館や美術館などの訪問 県進出企業の訪問	各4名／10名

4. 参加者からの感想

<ホームステイ>

- ・一番楽しかったです！！ 家族の方がとても歓迎してくださって、嬉しかったと同時に、実際に中国で生活している同世代の子から話を聞いたり、実際に見たことが、強く頭に残っています。
- ・中国人のライフスタイルが、日本とかなり違っていることに驚いた。中国の細部まで見ることができ、とても良い経験になった。
- ・簡単な英語でコミュニケーションを図ろうとしてくれたことが嬉しかった。また、中国語で挨拶をしたら、とても喜んでくれた。ホストファミリーに中国の伝統的な文化やマナーを教えてもらった。
- ・生まれて初めて丸一日、英語のみで過ごした。最初は緊張していたけれど、自分の英語が思ったより通じて嬉しかった。また、日本の歴史や風習について聞かれたことも多く、自分の理解がまだまだ足りないと思った。
- ・私のホストファミリーは日本語が上手で、私が英語を話す必要はなかったが、できるだけ分かりやすい日本語にしようと努めた。広州タワーや珠江夜遊びに連れて行ってもらって、とても美味しい広東料理をふるまってもらい、文化について、町について、とてもたくさんのことを教えてもらった。
- ・私たちが日本では触れることのなかった文化や地域独特の食べ方を教えてもらって非日常を味わえたり、英語でのコミュニケーションを行うことで、自身の今後への糧にできる、語学としての経験を積むことができ、嬉しかった。
- ・非常に良くしてくださって、おいしいご飯を作ってくれたり、私が体験したいと思っていたことをすべて叶えてくれて、充実した1日だった。私が中国人の方に中国語で話しかけられた時も、助けてくれて、優しく説明をしてくれた。
- ・国籍なんて関係ないと思った。中国の人はあまり日本を好きじゃない人もいるという偏見があったので、すごく良い対応をして下さってありがたかったし、考え方が少し変わった。また、英語を使うことが多かったので、英語力の向上になったと思う。
- ・とても優しく接してくださり、嬉しかった。英語の大切さも感じた。
- ・たくさんのおもてなしを受けた。2日間のとても短い時間だったけど、思い出ができて離れるのがさみしかった。家族みんなと仲良くなれた。

<広東省実験中学>

- ・たくさんの人に関わることができて、楽しかったです。また、大学受験に向けた、中国の学生の志の高さや熱心な気持ちを知れて、自分も負けていけないなという良い刺激になりました。
- ・一緒に生活をしてみて、国は違えど、はしゃぐ所やウケる場面が同じですごく親近感を感じた。英語で話場面が多く、学んできたことを活かすことができたし、中国語を少しだけ使うことができ、伝わったのが、すごく嬉しかった。
- ・みんながとても歓迎してくれて、WeChat の ID を交換したいと声をかけてくれたり、日本の文化や伝統、アニメなどに興味を持ってくれていて嬉しかった！
- ・広東実験中学高等部全体の英語力の高さに驚いた。また、体育の授業は予想以上にハードだった。学生の中には日本のアニメなどの日本の文化に興味を持っている学生が非常に多く嬉しかった。
- ・様々な体験や実験中学の生徒とコミュニケーションを取れたことがとても良かった。特にランチの時はたくさんの生徒が私たちに興味を持ってくれてとても嬉しかった。お互い緊張していたり、英語が思い通りに伝わらないこともあったが一生懸命交流した。
- ・広東省で1番頭が良いだけあって、英語やスピーチの内容もレベルが高く、私の力の足りなさを実感し、日本に帰ってからさらに英語の勉強も頑張ろうと思えた。ジンジャーミルクや漢服は普段できない文化体験ができて楽しく、また刺激を受けた。
- ・1番驚いたのが、同じ高校とは思えないくらい大きくて高い建物でキャンパスを歩くのは大変だったけど、日本ではなかなか体験できないような漢服体験や合唱等を目で見て感じられて、本当に良い経験になった。中国の英語のレベルが本当に高く、モチベーションが上がった。
- ・敷地がめっちゃ広くて、すごく良い環境だと思いました。特に図書館や食堂が広くてキレイだった。優秀な人材育成には、このような環境が必要だと思う。私も通ってみたいと思った。
- ・色々な人と交流できて楽しかった。自分達の文化との相違点を知ることができた。
- ・体育の授業では日本人1人で不安だったけど、一緒に受けた子が英語や日本語で教えてくれてとても楽しめた。習字の授業は日本と筆の使い方が違って驚いた。